Japan. Endless Discovery.

令和４年度訪日外国人旅行者受入環境整備緊急対策事業（実証事業）

# 高速道路に接続している「道の駅」の拠点・ハブ化実証事業【概要版】

国土交通省中部運輸局
令和５年３月

報告書本通データ版をご希望の方は、以下宛先までEメールにてご連絡下さい。

【応募要領】タイトルは「道の駅事業報告書希望」とし、メール本文には、①所属先 ②氏名 ③連絡先電話番号 ④連絡メールアドレス ⑤使用目的 を記入の上、
cbt-kankokikaku※gxb.mlit.go.jp　（※印を@に置き換えてください。）までご連絡下さい。

国土交通省

*Chubu District Transport Bureau*

# 1．事業概要



愛知県東部の奥三河地域（愛知県新城市、設楽町、東栄町、豊根村）は、令和４年にWRC （世界ラリー選手権）が開催され、令和８年には第 20 回アジア競技大会自転車ロードレースの開催予定地となっており、訪日外国人旅行者等の誘客に向けた取組を強化している。

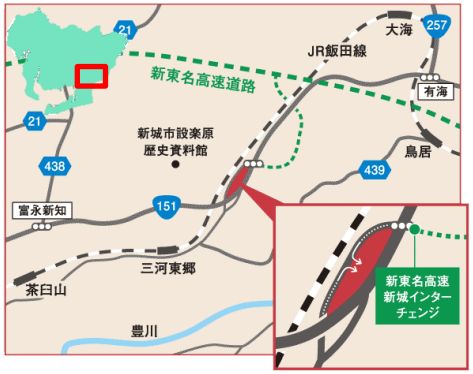
また、奥三河地域の玄関口である「道の駅もっくる新城」（以下、「もっくる新城」）には令和３年10 月から東京・大阪間を結ぶ高速バスが乗り入れを開始しているが、「奥三河地域」や「もっくる新城」は、交通手段を含めて認知度が低く、名古屋市や周辺都市からの入込客も伸びていない状況にあり、今後、国内外からの誘客促進を図る上で一層の機能充実が求められている。

本事業では、高速道路に接続している「道の駅」である利点を活かした様々な機能充実策を検討・実証することにより、「道の駅」を核とした訪日外国人旅行者等の広域周遊につなげるための認知度向上、誘客促進等の手法を他地域でも活用できることを目的に調査を行った。

| 高速道路に接続している「道の駅」の拠点・ハブ化実証事業 | |
|---|---|
| 事業期間 | 令和４年６月24日～令和５年３月27日 |
| 事業実施主体 | 中部運輸局観光部観光企画課 |
| 調査担当 | 三菱ＵＦＪリサーチ＆コンサルティング株式会社<br>政策研究事業本部名古屋本部研究開発部 |
| 実施体制 | ・国土交通省中部地方整備局　道路部 計画調整課<br>・国土交通省中部運輸局　愛知運輸支局 輸送・監査担当<br>・国土交通省中部運輸局　静岡運輸支局 企画・調整担当<br>・新城市　総務部 行政課 公共交通対策室<br>・新城市　産業振興部 観光課<br>・（一社）奥三河観光協議会<br>・愛知県東三河広域観光協議会<br>・遠州鉄道（株）運輸事業部計画課<br>・豊鉄バス（株）営業企画部<br>・ジェイアールバス関東（株）運輸営業部<br>・道の駅もっくる新城 |

## 道の駅「もっくる新城」

東京、大阪を結ぶ「ジェイアール高速バス」や、名古屋、長久手方面へ運行する高速バス「山の湊号」が乗り入れており、新東名高速道路新城インターチェンジと国道151号線との結節点に位置し、歴史的にも伊那街道の「山の湊」として栄えた交通の要衝です。




地図引用：道の駅もっくる新城公式HP

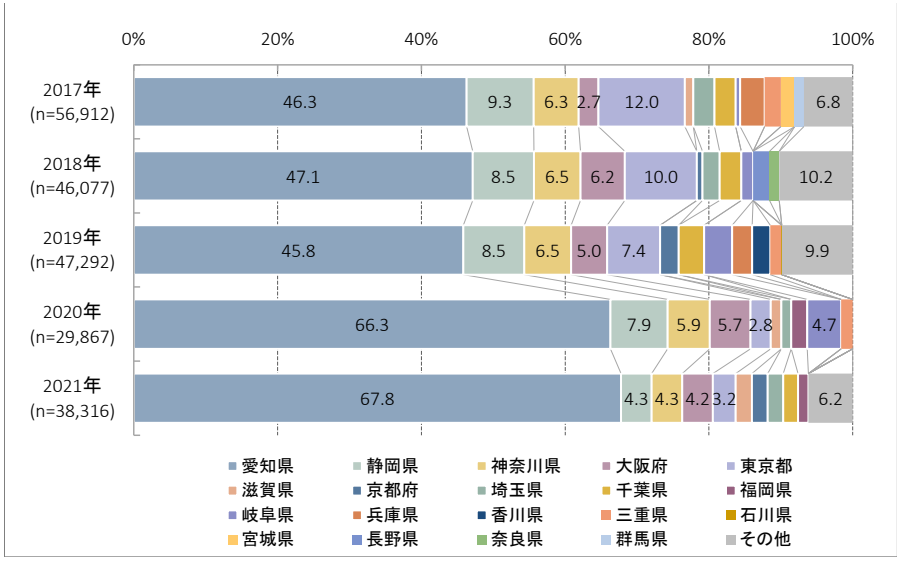
もっくる新城に停車中の高速バス

# 2．周辺地域の現状と課題整理



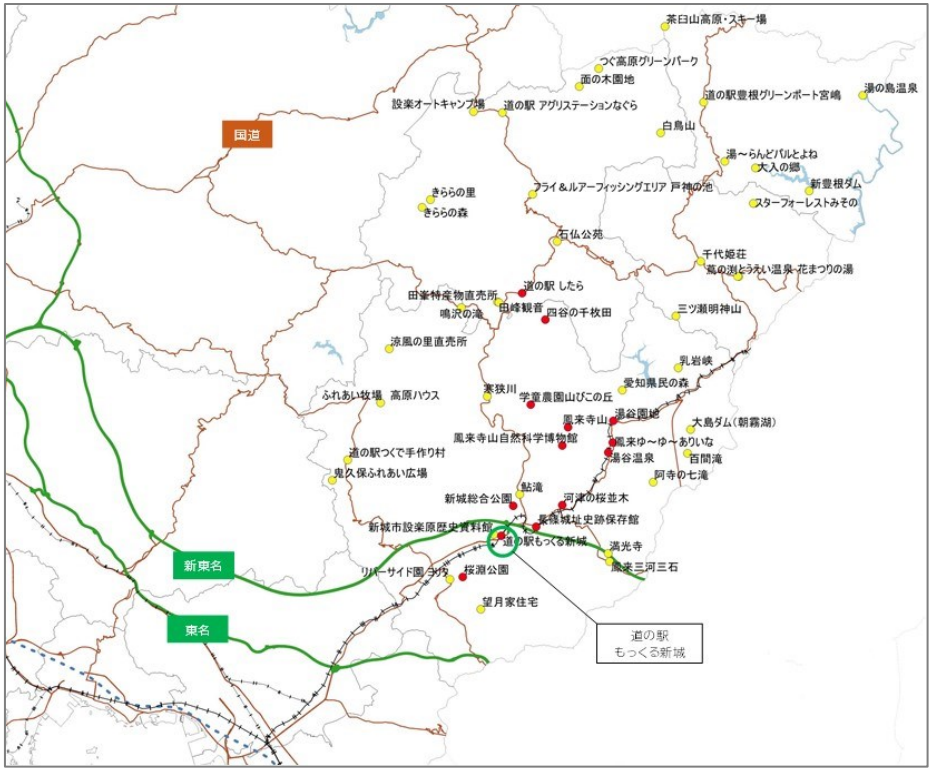
- 奥三河地域の観光の現状は、公共交通よりも自動車によるシェアが圧倒的に高く、宿泊者は愛知県居住者が大半である。また、訪日外国人旅行者の来訪状況は、近隣地域に比べ極めて低く、公共交通を利用した周遊観光についても、二次交通の脆弱性等から地域の関係者も共通課題として認識している。
- もっくる新城の立地状況については、60分圏内に豊橋駅、90分圏内に浜松駅、藤が丘駅、ジブリパーク等を有する。
- 奥三河地域の観光資源のうち認知度が高く、かつ公共交通機関で概ね60分以内に直接到達可能な場所は、「鳳来寺山・鳳来寺」、「湯谷温泉」である。

図表　奥三河地域の日本人宿泊者の居住地（新城市・豊根村）




出典：RESAS地域経済分析システム-観光マップ（from-to分析）より作成
（注）設楽町、東栄町はデータなしのため、新城市、豊根村のデータより作成）

図表　奥三河地域の主な観光資源の位置図




出典：　愛知県観光レクリエーション利用者統計、奥三河観光協議会が運営するウェブサイト「奥三河観光ナビ」等に掲載されている奥三河地域の観光資源を抽出作成
※ポイントが赤色の地点は、もっくる新城から公共交通機関で直接（最寄りバス停から1km以内）到達可能な観光資源

# 3．全国の高速道路に接続している「道の駅」調査



全国の道の駅において、高速道路に接続する道の駅やバスが乗り入れる道の駅の取組事例を調査し、道の駅におけるサービス提供状況、バスを含めた二次交通提供状況等、道の駅が持つ機能について整理した。

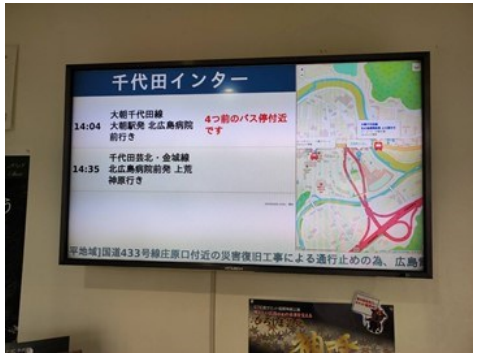
- 舞ロードIC千代田（広島県北広島町）には、バス情報の案内のためのデジタルサイネージや、英語表記の案内看板、カーシェアリング、レンタサイクルなどが整備されている。
- ららん藤岡（群馬県藤岡市）は、パークアンドライド（自家用車から高速バス）の交通拠点の趣が強い。また、藤岡市では道の駅の集客力を活かして周辺の周遊観光に力を入れている。

図表　もっくる新城に類似する全国の「道の駅」の施設整備状況

| | 道の駅名 | 施設 | | | | | | | | 交通結節機能 | | | | | | | その他 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 駐車場台数 | 物販 | レストラン | 喫茶・軽食 | 観光案内 | JNTO認定 | 無料WiFi | トイレ多言語案内 | 高速バス | 路線バス | 観光バス | レンタカー | レンタサイクル | バス券の発券 | ETC 2.0一時退出 | |
| ☆ | もっくる新城 | 88 | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | | ◎ | | 9 | 14 | | | | | ◎ | 大都市間高速バスの停車 |
| ① | おりつめ | 79 | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | | | ◎ | 5 | 10 | | | | | ◎ | R4.10に改修工事終了 |
| ② | ららん藤岡 | 353 | ◎ | ◎ | | ◎ | ◎ | ◎ | | 12 | 37 | | | | ◎ | | 高速バス利用者P&R藤岡PAと併設 |
| ③ | 発酵の里こうざき | 73 | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | 10 | 6 | | | ◎ | | | 将来ハイウェイオアシスとしての計画 |
| ④ | パレットピアおおの | 246 | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | | ◎ | | 6 | 17 | | | ◎ | | | レンタサイクルあり |
| ⑤ | ようか但馬蔵 | 132 | ◎ | | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | | 3 | 48 | ◎ | | | | | 定期観光バスの立ち寄り先 |
| ⑥ | 奥大山 | 42 | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | | ◎ | | 2 | 9 | | | | | ◎ | サイクルラックあり |
| ⑦ | 北の関宿安芸高田 | 68 | ◎ | | ◎ | ◎ | | | | 2 | 4 | | | | ◎ | | 道の駅内にローソン |
| ⑧ | 伯方S･Cパーク | 316 | ◎ | | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | | 12 | 27 | | | ◎ | | | 伯方島の交通結節点 |
| ⑨ | 舞ロードIC千代田 | 189 | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | | ◎ | | 41 | 27 | | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | モデル「道の駅」地域交通拠点部門認定 |

写真　「舞ロードIC千代田」の案内看板

写真　「舞ロードIC千代田」のデジタルサイネージ



# 4．浜松新城リレー号の実証運行

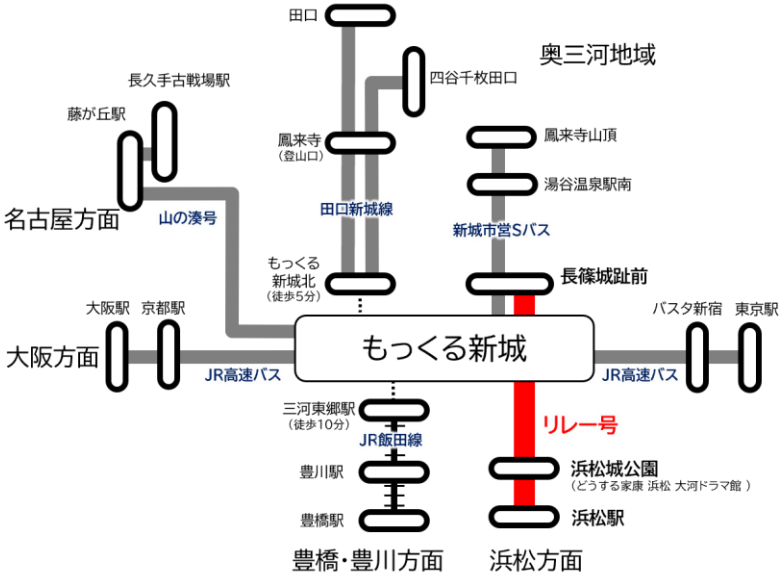


名古屋市及び浜松市からの誘客や、東京・大阪間を結ぶジェイアール高速バスからの誘客をターゲットに、各バス路線の乗り継ぎ利便性について検討するとともに、浜松市からの移動需要把握とその効果検証を行うため、「浜松新城リレー号」の実証運行を行った。

**「浜松新城リレー号」実証運行**　実証運行詳細ページ：https://wwwtb.mlit.go.jp/chubu/kankou/chiiki/hub.html

| | |
|---|---|
| **運行会社** | 遠州鉄道（株）、豊鉄バス（株） |
| **実施概要** | 運行日：令和５年１月28日(土)、29日(日)、２月４日(土)、５日(日)、11日(祝)、12日(日)、18日(土)<br>系統・起終点：浜松駅（浜松城公園、もっくる新城正面　経由）長篠城址前。<br>ダイヤ・運賃：遠鉄バス１台、豊鉄バス１台のピストン運行。１日計８便７日、道路運送法第21条による運行。<br>浜松新城間はおとな片道1,000円。通常運賃とは別に、浜松新城リレー号が最大７日間乗り放題となるWEBチケットを「サブスク浜松新城リレー号」の愛称で販売。窓口や車内での対面販売は行わず、MaaSアプリおよびWEBサイト「EMot」（小田急電鉄）、「CentX」（名古屋鉄道）を通じて販売することにより、バス乗務員や窓口要員の負担軽減をはかるとともに、首都圏（EMot）や名古屋地区（CentX）の既存登録会員を対象とした事前周知を目的に設定。利用には、クレジットカードによる事前決済が必要。 |

図　浜松新城リレー号路線概要



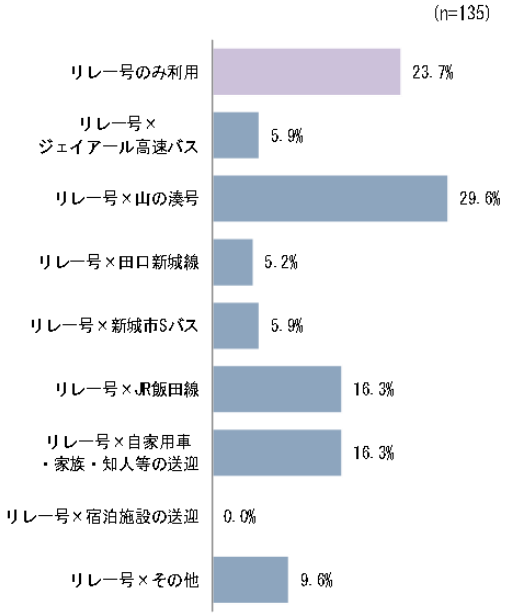

画像　WEBチケット購入画面（左：Emot　右：CentX）

# 4．浜松新城リレー号の実証運行



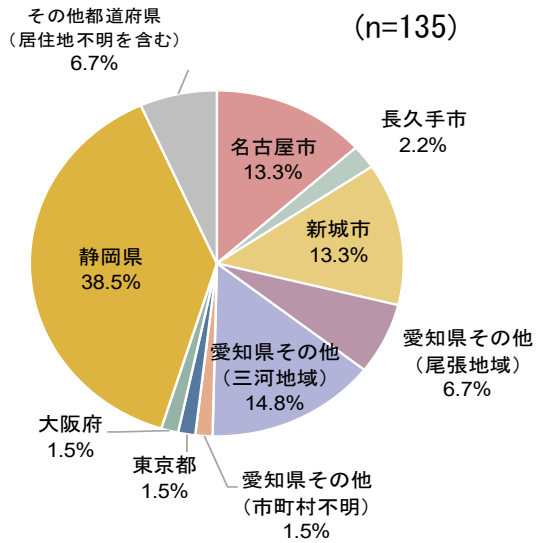
- 期間全体の乗客数は304人（大人155+144人、小人3＋2人）、１便当たりの乗客数は、全運行回数56便に対して、平均5.4人（大人5.3、小人0.1）であった。居住地別利用者では静岡県内居住者が最も多く、約４割弱を占めたことから、静岡方面からの移動需要が一定程度あることが確認された。
- 現金支払、WEBチケット（サブスク浜松新城リレー号）の内訳では、WEBチケットが乗客数全体の82%を占めた。１枚あたりの平均利用回数は3.2回であり、往復以上の利用や日を跨いだ利用もあった。
- もっくる新城における乗り継ぎ利用は、予約不要で約90分圏内の名古屋方面への「山の湊号」との乗り継ぎが最も多く、利用者全体の約３割を占めた。遅延による不安が少ない路線からの乗り継ぎについては、乗り継ぎ先のバス情報や、乗り継ぎプランの事前周知、またお得な運賃等の情報提供を積極的に行えば、乗り継ぎ利用拡大に効果的であることが確認された。

図表　他の公共交通機関との乗り継ぎの状況




※図表n値は、浜松新城リレー号をご利用の方でアンケート調査に協力いただいた方の数値

図表　居住地別利用状況




画像　キャンペーンチラシ（クリックするとPDF版へジャンプします。）

# 5．モニター調査

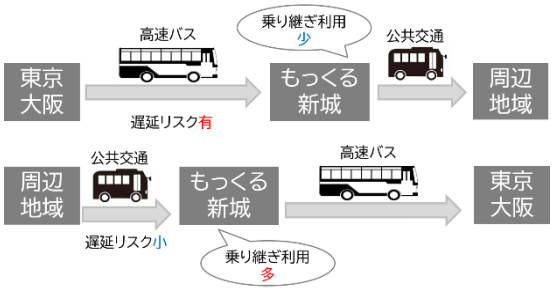


## （1）乗り継ぎモニタープランの実施

東京、大阪間の高速バスを運行するバス事業者等の協力により、「もっくる新城乗り継ぎモニタープラン」を設定。モニタープランの販売を通じて、もっくる新城におけるジェイアール高速バスと他の公共交通機関等との乗継需要調査を行った。

- もっくる新城から東京方面への乗り継ぎ需要は把握できたが、東京、大阪方面からもっくる新城へ至るバスからの乗り継ぎは、渋滞による遅延等の懸念からか、利用が少なく課題を残す結果となった。

右図　乗り継ぎモニタープラン実証結果イメージ




## （2）訪日外国人旅行者ニーズ調査

訪日外国人旅行者の公共交通機関を使った移動、ならびに奥三河の観光資源に関する興味や訪問意向、誘客していくために解決すべき課題等を調査するため、外国人モニター調査を実施した。

- バスの乗車券について、浜松新城リレー号の実証運行で取り扱ったWEBチケットについては、多言語表示対応や操作性での不安が確認された。また、新城市営Sバスと田口新城線の決済方法が違うこと（前払い均一制、後払い距離制）については、特に訪日外国人旅行者にはわかりにくい情報であるため配慮が必要である。
- バス停や観光案内標識等への多言語表記、Wi-Fi環境整備に関する意見が確認された。多言語表記についてはハード整備だけによらず、訪日外国人旅行者が多く利用するGoogle Mapsへの情報入力や情報量の充実により対応できる可能性もあり、こういったソフト整備への対応も求められる。

左画像　外国人モニター用チラシ

下写真　もっくる新城北バス停

# 6．アンケート調査結果



奥三河地域への訪問意向や、もっくる新城に接続する公共交通の利用経験や利用意向を把握するため、インターネットモニターを通じた「潜在需要アンケート調査」と、もっくる新城に公共交通機関で来訪する利用者を対象とした「利用者アンケート調査」を実施した。

| （1）潜在需要アンケート調査 | |
|---|---|
| 調査対象 | 名古屋市、豊橋市、岡崎市、新城市、長久手市、浜松市在住者15歳以上 |
| 調査方法 | インターネットアンケート調査　※ネット調査会社・マクロミル社の調査パネルを利用 |
| 調査期間 | 2023年1月20日（金）～1月27日（金） |
| 回収サンプル数 | 名古屋市223サンプル、豊橋市116サンプル、岡崎市115サンプル、新城市107サンプル、長久手市110サンプル、浜松市220サンプル　※年代はほぼ均等になるよう回収 |

- もっくる新城への訪問経験は、名古屋市、長久手市、浜松市ではともに１割台であり、他の地域（豊橋市、岡崎市、新城市）に比べて低い。自動車やバイクを所有していない人ほど、その傾向は強くなるため、公共交通機関の充実により潜在需要を拡大できる可能性がある。
- ジェイアール高速バスの利用意向については、新城市以外では、豊橋市や名古屋市で３割程度が関心を示しており、もっくる新城までのアクセス手段や使いやすさの周知・ＰＲ、また、遅延による不安を解消させる施策を検討することにより、利用促進に繋がる可能性もある。

| （2）利用者アンケート調査 | |
|---|---|
| 調査対象 | 公共交通機関を利用したもっくる新城来訪者（途中休憩利用を含む） |
| 調査方法 | ①中部運輸局ウェブサイト、JR高速バスサイトにアンケート回答用URLを掲示し、ウェブにて回答を収集　②道の駅もっくる新城での対面アンケート調査 |
| 調査期間 | ①ウェブ回答：2023年1月28日（土）～2月22日（水）　②対面アンケート：浜松新城リレー号運行日 |
| 回収サンプル数 | 315サンプル |

- 新城市、三河地域、浜松市の一部地域（もっくる新城周辺地域）からの利用者には自家用車（送迎）からの乗り継ぎ利用が一定数確認され、自由意見からも駐車場整備に関する意見も確認された。
- もっくる新城での待ち時間が長い乗り継ぎ利用者にとっては、ベンチ等の休憩スペースへのニーズが高い。また、比較的長距離を走る高速バス路線の利用者にとっては、デジタルサイネージ等の情報も求められている。
- ジェイアール高速バス（新城乗降者を含まず）、山の湊号、浜松新城リレー号の利用者は、「湯谷温泉」、「鳳来寺山・鳳来寺」への訪問意向が共通して確認された。

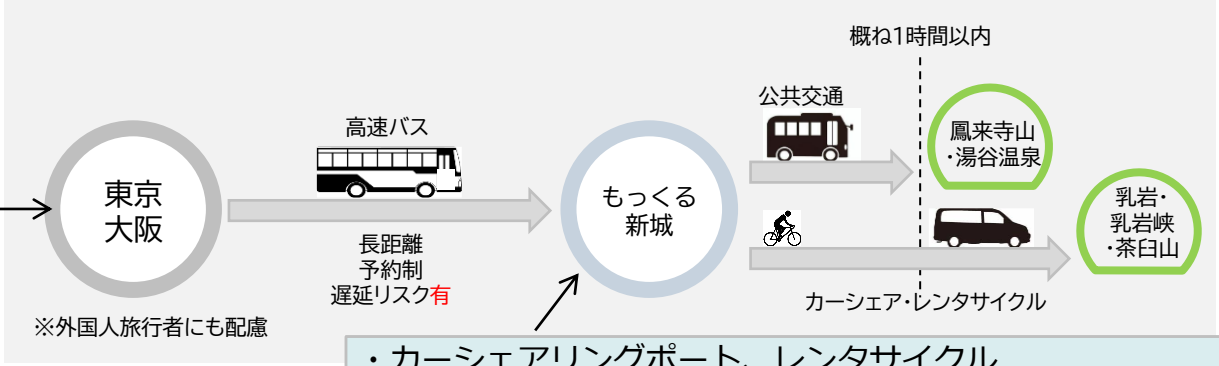
# 7．まとめ



「もっくる新城」は複数のバスが乗り入れる全国的にも珍しい道の駅である。こういった優位性を活かし、先ずは都市部の潜在ユーザーに対し認知度を高める施策を行うとともに、受入環境の整備や公共交通に関する情報発信等を方面別に行う必要がある。

## （1）東京・大阪方面からの集客イメージ

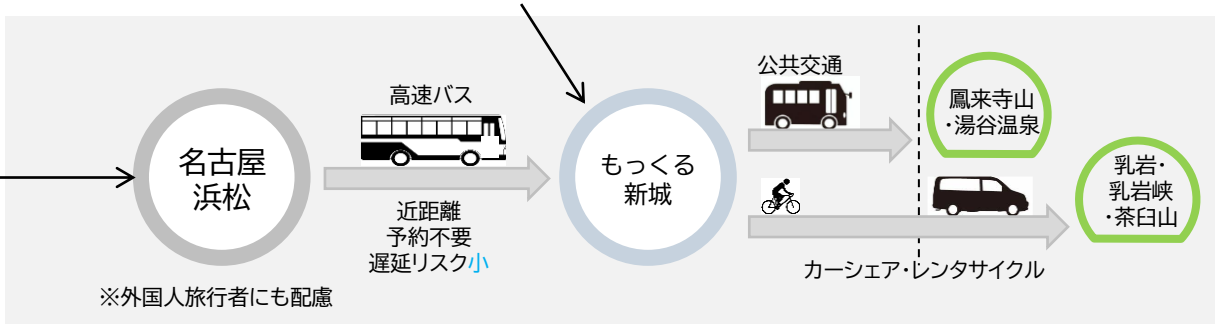
・新城で乗降可能である旨の周知
・乗り継ぎ不安解消のための情報提供
・地域の魅力、体験プログラム等の情報提供




・カーシェアリングポート、レンタサイクル
・体験プログラム・屋内待合スペース、デジタルサイネージ

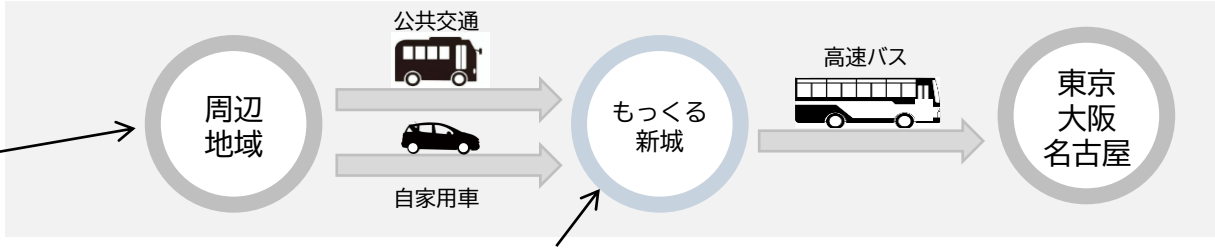
## （2）名古屋・浜松方面からの集客イメージ

・地域の魅力、体験プログラム等の情報提供
・共通乗車券やWEB乗車券の導入
・乗り継ぎプランや乗り継ぎ情報の提供
・生活交通との連携




## （3）周辺地域からの集客イメージ

・共通乗車券やWEB乗車券の導入
・乗り継ぎプランや乗り継ぎ情報の提供
・生活交通との連携携




・パークアンドライド駐車場　・屋内待合スペース、デジタルサイネージ